

本業に賛成したのである。
次に役員総会に於て本委員会が入會に代るべきものであるから決定しても差仕へなしとして役員全員の留任を決定した。
加して川村主事より過去一ケ年の情勢に就て悲観的な本報報告をなし、今後陸軍省局の善々社会に對する意圖を明らかに理出なき懸念には極力以對して進捗すると述べたのである。

官業労働総同盟中央委員会状況

一、日時 昭和十年十月十七日 自午前十時五十分 至午後三時三十分

二、會場 小倉市公會堂

三、出席者 十六名 傍聴者三名

中央委員長	西 淵 宇 吉
主 事	川 村 保 太郎
會 計	尾 崎 喜 太郎
大阪向上會	西 本 謙 一
大阪烟草労働組合	坂 月 金 平
大阪市従業員組合	渡 田 佐 太郎
名古屋向上會	大 谷 長 三 郎
同	國 枝 吉 太 郎
	豊 島 兼 吉